

# 平成 28 年度 自己点検・自己評価報告書

平成 29 年 5 月 10 日現在

学校法人 国際学園

九州医療スポーツ専門学校

自己点検・自己評価委員会

## < 目 次 >

### 基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 1-2 学校の特色はなにか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

### 基準2 学校運営

- 2-4 運営方針は定められているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2-5 事業計画は定められているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか・・・・・・・・ 6
- 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか・・・・・・・・・・ 7
- 2-8 意思決定システムは確立されているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか・・・・・・・・・・ 8

### 基準3 教育活動

- 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか・・ 9
- 3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識・技術・人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、  
また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか・・・・・・・・ 12
- 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか・・・・・・・・ 18
- 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・・・・・・・・ 21
- 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 3-17 資格取得の指導体制はあるか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

基準 4	教育成果	
4-18	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	25
4-19	資格取得率の向上が図られているか	28
4-20	退学率の低減が図られているか	31
4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	34
基準 5	学生支援	
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	37
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	38
5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	41
5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	42
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	42
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	43
5-28	保護者と適切に連携しているか	43
5-29	卒業生への支援体制はあるか	46
基準 6	教育環境	
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	47
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	47
6-32	防災に対する体制は整備されているか	48
基準 7	学生の募集と受け入れ	
7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	48
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	49
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	49
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	50

基準 8	財務	
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	50
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	51
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか	51
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	52
基準 9	法令等の遵守	
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	52
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	53
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	53
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	54
基準 10	社会貢献	
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	54
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	55

基準 1 教育理念・目的・育成人材 (平均評価：4.0)

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<p><b>現況</b>                      教育理念・ビジョンともに全職員が日常的な教育活動の中に反映させている。そのことが地域と連携した活動における学生の主体的参画となって現れている。</p>			
<p><b>課題とその解決方法</b>                      各学科の特性の違いを全校で取り組む活動の中に盛り込みながら、それぞれの目指す人材が究極的に本校の教育理念・ビジョンへと向かっていることを学生に実感させる場の設定を推進していきつつある。</p>			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中村 潤

1-2 学校の特色はなにか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<p><b>現況</b>                      新校舎移転に伴い交通の利便性が向上し、立地条件としても市街地の中心部にあることから、地域へのPR効果を含め注目度が高まっている。</p>			
<p><b>課題とその解決方法</b>                      学生・職員ともに本校への帰属意識をさらに向上させ、地域との関係性を強化するための仕組みづくりを自治体と連携して構築しつつある。</p>			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中村 潤

### 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 平成28年4月に看護学科を開設した。また平成29年4月に歯科衛生学科・作業療法学科・介護福祉学科を開設し、併せて日本語学科を専修課程として傘下に置くこととなった。			
<b>課題とその解決方法</b> 11学科を設置することで総合的に医療とスポーツを連携づける専門学校として、幅広い領域をカバーする教育活動が本校の教育理念・ビジョンを指向するものとなるように教育課程の工夫・改善に努めている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中村 潤

## 基準2 学校運営 (平均評価：3.8)

### 2-4 運営方針は定められているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 理念および目的を基盤とした運営方針を定めている。			
<b>課題とその解決方法</b> 運営方針に基づいた学校運営に取り組んでいる。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀

## 2-5 事業計画は定められているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 年度ごとに事業計画を策定している。			
<b>課題とその解決方法</b> 事業計画に基づいた取組みを行うように、各学科の運営会議において周知を図っている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 職務分掌をはじめ各種会議の位置づけを明確にした上で、会議議事録の回覧で効率的かつ正確な情報の伝達を図っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 効率的になっており、特に問題なし。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 就業規則、賃金規程等が定められており、人事考課制度が整備されている。			
課題とその解決方法 規則および規程が定められており、特に問題なし。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 各学科会議等で決定したものを、校長を中心とした教職員会議に諮って意思決定を行っている。			
課題とその解決方法 確立されているため、特に問題なし。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀



## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 学生情報は元より、入試、就職、広報に関する情報をシステム化して、効率化を図っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 平成 28 年度から試験運用を開始したため、システムの利用方法の周知を図っている。			
最終更新日付	2017 年 5 月 10 日	記載責任者	西田 真紀

### 基準3 教育活動 (平均評価：3.3)

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 担任が積極的に学生と関わり合い、教育目標である「挨拶、感謝、感動、責任」を伝え、学生も実践するようになってきている。 学校イベントにも積極的に参加し社会貢献に関わる人材を育成できている。			
<b>課題とその解決方法</b> 1年生から名札の着用、「挨拶、感謝、感動、責任」の教育を行うことが必要である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 本校の vision でもある ZERO100 プロジェクトを実現すべく、小児から高齢者までに対応できるような鍼灸師の輩出を目標としている。			
<b>課題とその解決方法</b> どのような人材が今後この業界に必要なようになってくるかなど企業の方々へ伺う機会を設けられた。今後はその内容をいかに講義等に反映できていくかが課題となってくる。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> スポーツ鍼灸学科で時代のニーズに対応した「健康」をプロデュースできるカリキュラムを構成し、一般の方から競技スポーツ選手までサポートできる鍼灸師の輩出を目標に掲げている。			
<b>課題とその解決方法</b> 教育目標をより深いものとするために、現在、企業の意見も積極的に取り入れる意見交換する場を設けている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 医療・介護・福祉・保健領域において理学療法士に求められる様々な対象者のニーズに応える人材育成を教育目標とし専門的知識や技術の臨床スキルの習得を目指す。基礎的な知識・技術のみならず、応用・実践的に対象者へ関われる人材を育成する。			
<b>課題とその解決方法</b> 応用・実践的な知識や技術の習得のため、演習や実技授業の充実を図る。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

### (看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 豊かな人間性と社会人としての人格の育成を図り、専門職としての看護に必要な知識・技術・態度を習得させ、広く地域社会に貢献できる看護師を要請する。			
<b>課題とその解決方法</b> 目的達成のために、各学年の到達目標に沿い1年次に関わっているが、教員間での一貫性統一性が不足している。 定期的（四半期毎）に各学年の目標到達状況を学科会議で報告する。⇒その結果を学生指導等に活かす。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

### (アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> アスレティックトレーナーの資格取得が最大の目標であるが、さらに学科の特性を活かしていく上でトレーニング指導のできるスポーツ指導者養成を目指している。			
<b>課題とその解決方法</b> スポーツ指導者として、幅広い年齢層に対応できる指導者の養成が望まれる。そのために、個々のニーズに対応できるスポーツ指導者養成のためにまずはトレーニング指導のできる人材育成が必要である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> ZERO100プロジェクトに貢献する現場で活躍している現役の講師陣が、現代のニーズに沿った基礎知識・手技を指導している。			
<b>課題とその解決方法</b> 定期的に段階に応じた小テストを実施し、習得レベルをチェックする。 学生や各講師陣との個別相談を実施し、ベクトルの調整と情報の共有化を図る。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 平成28年3月に第1期生が卒業し、それぞれの希望する学校に進学した。本校介護学科への進学者もおり、本校のビジョンに沿うものとなりつつある。			
<b>課題とその解決方法</b> 日本語習得についてはコミュニケーションでは問題ないが、読み・書きが弱い学生が見られた。専門課程への変更に伴い授業時間数が増えるので、弱点克服のために有効に活用していく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識・技術・人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 教育目標である「挨拶、感謝、感動、責任」を実践するため、生徒が自主的に考え行動することを勘案した授業を行うためのミーティングを随時行っている。授業評価アンケートをふまえて改善していく事ができている。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生が自分で考え行動できるように指導していく必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学科における教育目標を考慮した上でシラバスに授業概要を明記し、各科目教育目標を設定している。			
<b>課題とその解決方法</b> 業界のニーズを把握し、それを考慮した授業内容を計画し、3年間で効果的に学べる授業計画を考案する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 厚生労働省指定養成課程において指定規則等に基づいた教育を行っており教育到達可能レベルは明確に定められている。			
<b>課題とその解決方法</b> 平成30年度から新たに養成課程が変更になるので、それを考慮した授業内容を計画する必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 総ての科目において授業計画(シラバス)に授業概要と実施における教育目標を明記している。更に科目特性を活かせる教材の選定を行い、教育目標に到達できるよう習得段階を勘案した授業計画(シラバス)を構成している。			
<b>課題とその解決方法</b> 習得段階を確認するための形成的評価の見直しを行う			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 看護師養成所指定規則に基づき、総ての科目において授業計画（シラバス）に授業概要と実施における教育目標を明記し、受講後に習得すべき内容を明確に定めている。			
<b>課題とその解決方法</b> 専任教員の教育観の違い、到達レベルの解釈の違い。専任教員の離職。 ⇒各科目の到達目標を教員間で統一できるように話し合いの場を持つ。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 在学中、各年齢層に対応できるスポーツ指導者資格の取得ができる。			
<b>課題とその解決方法</b> 在学中、資格取得が多くできる中、それを用いてスポーツ現場で活かしてけるだけの指導能力を身につけさせる。 そのためには、スポーツ指導現場での指導経験を増やしていくことが必要である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司



(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 時代のニーズに沿った手技・知識が習得できるカリキュラム構成である。サロンシュミレーションや地域イベントにおけるボランティア活動課外活動をとおして実践している。			
<b>課題とその解決方法</b> 目的意識を持ち計画準備を徹底する			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> コースごとのレベル別概要を定めている。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生の母語により到達可能なレベルに差があるため1クラスでは十分指導ができないこともあり得る。今後受入数が増えれば、習熟度別にクラスを編成して指導する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

### 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

#### (柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ 当てはまらない(N)			
<b>現況</b> 新年度に3年生となる生徒においても特に重要な四肢の筋の起始停止神経支配などの理解は十分とは言えない。勉学は終わっているはずだが、知識が定着できていない学生が多い。2回抜き打ちでの実力試験を行った。			
<b>課題とその解決方法</b> 2年時でも前期、後期と学生が反復で勉強するための問題などを提供し、定期テスト以外での試験を継続して行う必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

#### (鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ 当てはまらない(N)			
<b>現況</b> 教育目標に基づいて、医療従事者として必要なスキルや知識を修得するためのカリキュラムを構成している。 1年次は人体構造や機能、安全に施術するための基礎的な科目を配置 2年次は病理機能や臨床医学総論・各論、患者の不安を除くための応用的な科目を配置 3年次は疾患・症状や臨床現場で働くための臨床的な科目を配置			
<b>課題とその解決方法</b> 職業実践専門課程の意義を踏まえ、医療人としてのキャリア形成を含めた実践的な職業教育を推進していく。そのために外部企業と連携のもと社会ニーズ、業界ニーズを取り入れたカリキュラムを構築していき、実践していく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 教育目標に基づいて、医療従事者として必要なスキルや知識を修得するためのカリキュラムを構成している。 1 学年は人体構造や安全に施術するための基礎的な科目を配置 2 学年は生理・病理機能や患者の不安を除くための応用的な科目を配置 3 学年は疾患・症状や臨床現場で働くための臨床的な科目を配置			
<b>課題とその解決方法</b> 外部企業に協力を仰ぎ、体系的なカリキュラムの見直しと科目配置を行うために話し合いの場を設けた。 今後は実際に実行し、結果を踏まえて再度話し合い、より良いものを構築していく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学生の履修状況が円滑に進捗するために、基礎科目・専門基礎科目・専門科目と段階的に習得状況が充実していくように編成している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生個別の履修状況を把握するため履修評価の頻度を上げて行っているが、更に履修評価に応じた学生個別の支援が必要である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 看護師養成所指定規則に沿い、体系的にカリキュラムを構築、運営している。			
<b>課題とその解決方法</b> 看護師国家試験合格を見据え本校のレディネスに合わせたカリキュラム編成が必要。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 幅広い年齢層、ニーズに対し、個人に適したスポーツ指導・運動指導ができるカリキュラムを段階的に理解できるようなカリキュラム運営を目指している。			
<b>課題とその解決方法</b> 理論科目と実技科目との関連性をさらに深め、スポーツ現場で指導対象者に対し適切な指導ができる人材育成が必要である。そのために、授業科目ごとの意味づけを明確に関連性を持たせたカリキュラム体系が必要となる。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 基礎知識や手技は繰り返し復習し、不定期ではあるが課外活動で現場経験をしている。			
<b>課題とその解決方法</b> コミュニケーション能力の向上			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 科目別、時期別に到達目標を定めたカリキュラムを編成している。卒業後日本の学校に進学する学生向けに授業内容を定めている。			
<b>課題とその解決方法</b> 日本語を学ぶ学生のニーズは多様であり、能力にも差があるため、カリキュラム通りに進めることは難しい。今後は募集時に本校の求める人材を明確に示すこと、また希望進路別のクラス編成にすることで柔軟な指導ができるようにしていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 来年度からカリキュラムの変更があるために、対応できる準備を進めている。			
<b>課題とその解決方法</b> 生徒への意識付けが大切だと考える。主体的に授業に出席することによって学ぶ姿勢を養う。 そのために過去問を全員購入させて、その中から試験などを行っていく必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 厚生労働省指定養成課程において指定規則等に基づいた教育を行っており適正な位置づけをしている。			
<b>課題とその解決方法</b> 科目間の連携をうまく図り、学生の学習意欲が高まるよう積極的に意見交換を行う。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 現在、1学年2学年のみで各担当教員で密に連絡を取り合っている状態を継続しつつ、各科目同士の連携を図っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 科目間の連携をうまく図りながら、進んでいるが、最終学年が増える今後のことで効率化を考慮する必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 理学療法士養成施設指針に基づいた「基礎」「専門基礎」「専門」の3領域にてカリキュラムを構成している。更に資格取得後の理学療法士としての活躍を想定して、より応用・実践的な科目の構成を行っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 早期臨床教育の充実を図るため、1年次から3年次すべてにおいて、多く臨床現場を体験できるような科目設定を検討する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

### (看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 看護師養成所指定規則に沿い、科目進捗表を作成しそれを基に計画的にカリキュラムを作成、運営している。 (基礎科目から専門基礎科目へ、専門科目Ⅰから専門科目Ⅱ。)			
<b>課題とその解決方法</b> 専門基礎科目(解剖整理、疾病と治療など)とそれに伴う看護の科目が、進捗表通りに行かない場合がある。 講師の都合も考慮し、カリキュラム作成を検討する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

### (アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 本学科の最大目標である日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格試験合格に向けて、前提にカリキュラムを位置づけている。			
<b>課題とその解決方法</b> 日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格試験合格に向けて、基礎理論の充実を図る必要がある。 特に解剖学の知識は必須となり、補助教材の作成を検討していきたい。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司



(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 現役の講師陣の指導による基礎知識・実技を習得することで、課外活動とリンクし応用の習得ができるようにしている。			
<b>課題とその解決方法</b> 課外活動を経験することでコミュニケーション能力を習得する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 日本語の習得段階に応じて科目の時間数、学習内容、到達目標を定めている。			
<b>課題とその解決方法</b> カリキュラムに従いつつも学習者の多様性、ニーズを常に考慮し必要な指導をしていかなければならない。教員間の連携をさらに密にし、定期的なミーティング開催、共有教材の開発を行っていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

### 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 前期授業が終了した時期に年1回、授業評価アンケートを実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> (課題) 後期授業を対象とした授業評価アンケートが年度末の繁忙期と重なり実施できていない。 (解決方法) 後期授業評価を対象とした授業評価アンケートの実施を検討する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	味村 吉浩

### 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学術面に秀でた教員(学位を有する教員)に併せて、臨床面に秀でた教員(長年の臨床経験を経た教員)を確保している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学術面に秀でた教員と、臨床面に秀でた教員の相互間で情報交換を行い、教員の資質向上に努めている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	味村 吉浩

### 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検結果： <b>完璧(5)</b> ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学則に規定する「考査および成績評定」および「単位の付与」について学生便覧に掲載の上、随時説明を加えている。			
<b>課題とその解決方法</b> 「考査および成績評定」および「単位の付与」に関する学生への認知度は高いものと思われる。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	味村 吉浩

### 3-17 資格取得の指導体制はあるか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 実力試験を実施し、成績不振者に対しての解剖・生理学を中心に曜日を決めて年間を通した補講を行った。			
<b>課題とその解決方法</b> 補講を行ってもらえるという甘えが芽生え、主体的に勉強に取り組ませるまでに時間がかかった。 次年度は教員が関わりすぎて、学生があまえないようにする必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 入学前の課題や中間試験、期末試験を実施。また1・2年生は年度末に実力試験を実施し、3年生は毎月実力試験を実施するなど学生の学力を把握する機会を設けている。 また中間・期末試験後に成績不良者に関しては面談を実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生個別の学力を把握し、個人にあった学習形式などを確立し、学力向上に努める。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学期末試験以外に学習前試験、中間試験、実力試験を用いて学力向上に努めるとともに、積極的に発問するなど授業時間内での向上を心掛けている。			
<b>課題とその解決方法</b> 面談を試験都度行っているが、来年度の最終学年のこともあり、新たに模擬試験を行うことなどを考慮している。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 授業の進捗とともに、中間試験・期末試験を実施し、学生の履修状況の確認を行っている。また国家試験にむけた学習の機会を1年次より設けている。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生個別の支援の充実により資格取得への指導体制を強化する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 看護師養成所指定規則に沿い、看護師に必要な科目選定しすべて必須科目として、学生に習得させる。 各授業内で看護師国家試験対策を行い、終講試験で評価を実施。不合格者は再試験を受験することで、知識定着を図り、看護師国家試験合格を目指している。			
<b>課題とその解決方法</b> 看護師国家試験対策を計画的に実施する。学生が意欲的に学習に取り組める環境をつくる。 ⇒2年次は共通の看護師国家試験問題集購入し、カリキュラムの中に取り組み時間を設け、指導体制をつくる。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 各資格試験においては、授業内で試験対策を実施している。また、授業前・授業後に試験対策を実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> 資格試験の学習状況について学生の進行状況などを把握することが必要である。 そのため、模擬試験結果などを踏まえての面談を実施していく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 資格取得をサポートするカリキュラムである。			
<b>課題とその解決方法</b> 小テストなどで習得レベルをチェックしている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 年に1回、日本語能力試験、日本留学試験の受験を推奨し、授業内で対策授業を行い、必要な者には補講も行っているが、十分な結果が出ていない。			
課題とその解決方法 他科とは違い受験は卒業後の進路に必須のものではないため、取組にかなりの個人差がある。受験に対する意識付を行っていく必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

基準4 教育成果 (平均評価：2.7)

4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 教員がキャリアサポートセンターと連携し生徒と企業間の架け橋となり、より良い職場を生徒に提供できるように努めている。			
課題とその解決方法 就職説明会の情報発信に不備があり、参加できない企業があった。リストの整理が必要。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> キャリアサポートセンターを設置。毎年合同企業説明会を実施。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生の動向がわかるようなシステムを構築し、さらに学生がいつでも求人票を閲覧できるような体制を整えていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> キャリアサポートセンター・同窓会を運営し、合同企業説明会を実施し、アンケートを取るようになっている。			
<b>課題とその解決方法</b> アンケートの結果はおおむね良好だが、企業側と学生側では、学生側に改善点が多いように思われる。 合同企業説明会などを行う前の事前説明会や実施後のフォローアップなどをしっかりしていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢



(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学生からの就職に関する相談に随時応じるため、面談を行っている。 キャリアサポートセンターによる求人票の管理及び自由閲覧を行っている。医療機関・介護保険関連施設などの求人担当者を招き年1回の就職説明会を開催している。そして教員による面接指導・履歴書の添削などを行い、就職試験対策も実施している。 卒業生に対しても同様の機会を設けている。			
<b>課題とその解決方法</b> 卒業生の就職相談受付の充実が課題であり、より多くの企業（就職先）の情報を得る必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 医療機関・介護保険関連施設などの求人担当者を招き年1回の就職説明会を開催している。また、学生に対し随時、企業が実施している就職説明会の掲示等を行い就職活動に興味を持ってもらうようにしている。			
<b>課題とその解決方法</b> 今後も学生に必要な情報は伝達していく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 就職に関しては、就職希望者に対してマンツーマンで就職指導を実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生の就職活動が極めて遅い。そのため、学生に向けて就職活動への動機づけを面談で実施していきたい。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> キャリアサポートの求人票の閲覧や、企業説明会への意欲的な参加もあり就職へのサポートが出来ている。			
<b>課題とその解決方法</b> 個別面談において目標設定の見直しなどを行った。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ <b>あてはまらない(N)</b>			
現況 日本語科卒業後は進学するものがほとんどであるため就職に関する指導は行っていない。			
課題とその解決方法 就職を希望する学生があれば対応する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

4-19 資格取得率の向上が図られているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 成績不振者を中心に年間を通して面談・補講を行ってきた。また問題提供や補講で基礎（必修）をとるための内容に重点をおき取り組んだ。			
課題とその解決方法 1・2学年から資格取得を意識した授業や補講を実施する。また3学年の実力テストの難易度も高めていく必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 授業とは別に資格取得に必要な課外授業を実施。3学年では月に1回程度実力試験を実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> 積極的に面談を実施し、個人の問題を把握、学力・意欲向上に努める。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 正規授業以外に、資格取得・国家試験対策セミナーを週に3回行うことに加えて、模擬試験を月に1度実施し、合格までの道筋を立てている。 また合格までの道筋をたてた後、面談を実施し学科間で把握するようにしている。			
<b>課題とその解決方法</b> 個別対応を可能とするための人員が足りないのが現状であり、スケジュールの見直しなど計画を再検討する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 在校生の国家試験対策のみならず、資格取得ができなかった卒業生へ聴講生として登校させ、国家試験対策を行っている。 1年次から国家試験対策の機会を設け、基礎学力の向上に取り組んでいる。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生個別の学力の分析を行い支援が必要な学習内容を把握したうえで、より個別に具体的な学習支援を行う。このことにより学力向上を図る。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 未取得・未履修科目を持つ学生が多い。全員0科目としたい。そうすることが看護師国家試験合格につながる。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生学習状況の把握、個別支援・指導の不足 ⇒教員が更に学習面に対し、対応できるように業務内容を検討			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 資格試験対策を実施している上で、非常勤講師・卒業生からの協力が得られている。			
<b>課題とその解決方法</b> 年度当初に資格試験対策のスケジュール調整は実施した。ただ、個々の学生の学習状況に合わせた資格試験対策はなされていない。 また、学生らにスケジュールを立てさせ、計画性を持った学習計画を立案・実行する姿勢を身につけさせていきたい。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 個々の習得レベルをチェックし補講・課題提出などで資格取得のサポートをしている。			
<b>課題とその解決方法</b> 資格取得の目的を学生が明確にする。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ <b>ほとんど進んでいない(1)</b> ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 全員が日本語能力試験を受験しているが、取組みに差があり、十分な結果が出ていない。			
<b>課題とその解決方法</b> 自分の実際のレベルよりかなり上を目指す者がいるため、現状と受験レベルの説明を丁寧に行い、計画的な受験を勧める。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

4-20 退学率の低減が図られているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 各クラス担任が積極的に面談や補講の実施など指導を行っている。 また保護者との連携も行えてきている。			
<b>課題とその解決方法</b> 現状は、1名の教員が複数のクラスを担当している。副担任など複数の教員が1つのクラスの状況を把握する必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 年度初めには全員を対象に、定期試験後には成績不良者を対象に面談を実施。担任制を設け、相談しやすい環境等を整えている。			
<b>課題とその解決方法</b> 多方面から情報収集をし、学科内で共有し、学科として学習意欲の向上や問題解決に努める。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 定期的に試験を行った後の面談時に、学力のことだけでなく、学生生活のことについても相談を受けている。 それをパソコン上で管理して情報共有徹底している。			
<b>課題とその解決方法</b> 入ってからの対応に追われるので、入学前の個人対応時の説明や入試の際の面接などの事前対応で学校の正確な情報を認識してもらうことはまだできていない。学科間だけではなく、学校として問題意識を共有していく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢



(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> クラス担任制を実施し、学生個別の対応として2者面談や保護者を交えた3者面談を必要に応じて随時実施している。 演習を取り入れ学生同士の交流を図りコミュニケーションをとることで、クラスの連帯感を向上させている。 経済的理由による学生からの相談があった場合は、学費サポートとして学生部と連携して相談に応じている。 年1回の健康診断や、臨床実習実施前は抗体検査を実施し健康への支援を行っている。 スクールカウンセラーとの連携のもと学生のストレスの状況把握とその対応策の検討を随時行っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 学習意欲の低迷が起きてからの対応ではなく、事前に察知できるように細やかな情報収集に努める			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 1期生現在3名退学者がでている。 前期・後期に各1回の全員面談を実施。その他に個別に必要時面談を実施。必要に応じて保護者に状況報告を行い、面談も随時積極的に行っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 「看護師になる」という目的意識の低さ、また、学習内容が予想以上でやる気が消失などの理由が多い。 ⇒オープンキャンパス等で学習内容および実習内容もやや具体的に伝える。自分の意志を明確に持っているか、入試面接試験で見極める。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学生状況に関しては、学生対応表の作成、年3回の教育相談（面談）を実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生との面談を実施しているが、学生の悩みなどを聞き出せていない状況もある。 面談に関して、学科内で研修を実施し、学生の本音を聞き出せるようなスキルを身につけていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> グループワークや課外活動などを通してコミュニケーションを図っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 個別面談を行い問題点の把握をする。場合によっては、保護者と連絡を取る。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ <b>あてはまらない(N)</b>			
現況 新設学科であるため低減したかどうかはわからない。			
課題とその解決方法 募集時に、引き続き日本留学の目的をしっかりと確認する必要がある。また入国後の生活指導を通じて学生の学習意欲の変化、経済状態を見ていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校の卒業生でプロの現場で活躍している方を招いて定期的なセミナー（治療道セミナー）を行うことによって学生に情報だけでなく知識や技術を配信している。			
課題とその解決方法 本校が知りえていないところで活躍している卒業生がまだまだたくさんいるが現状を把握できていない。同窓会をもっと生かして情報収集するべきだ。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 卒業生、在校生ともに把握できている者とできていない者がいる。			
<b>課題とその解決方法</b> 在校生に関しては面談等で状況を把握、卒業生に関しては活躍を把握できるよう相互に連絡を取れるようなシステム等を構築する必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 在校生に対しては卒業時にアンケートを実施することで、活躍を把握するようできてきている。			
<b>課題とその解決方法</b> 在校生は把握しながらも、その後の追跡調査は現状できておらず評価に至っていない。気軽に卒業後も学校を利用してもらえる環境を整える必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 卒業後の就職先を把握している。しかし卒業後の進路変更などについては把握できていない。 在籍中から入会継続が可能な学生互助会（KMS サポート）にて各種セミナーを企画し、卒業後も知識・技術の向上を支援している。			
<b>課題とその解決方法</b> 卒業生の就業状況などを把握するための体制を構築する必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 在校生は活躍・評価を把握ができていないのが現状である			
<b>課題とその解決方法</b> 情報提供等、方法の検討			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ <b>ほとんど進んでいない(1)</b> ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 卒業生に対して、資格試験再受験に関する連絡を実施している。			
<b>課題とその解決方法</b> 卒業生との連絡方法で、学校のホームページを利用することを検討していたが、何ら進展がない。 引き続き、ホームページの利用、同窓会の起ち上げなどを実施していきたい。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 在校生は、サロンシュミレーションやボランティア活動などの課外活動状況を広報部がSNSで発信している。 卒業生は、就職後も定期的に連絡するなど状況把握をしている。			
<b>課題とその解決方法</b> 卒業生の就職先訪問を実施。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 卒業後の進路はほぼ進学であるため、進学先の把握に努めている。			
<b>課題とその解決方法</b> 今後も卒業生と連絡を取り進路、就職状況の把握に努める。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

基準5 学生支援 (平均評価：3.1)

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> キャリアサポートセンターを設置して、就職および進学指導に関する体制を整えている。 年に2回、求人企業と就職を希望する学生が交流する企業説明会を開催している。			
<b>課題とその解決方法</b> 就職情報についてシステムの導入を図ってデジタル管理を開始したが、膨大な求人情報が寄せられて、基本情報の入力のみにとどまっている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	味村 吉浩

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 遅刻・欠席のめだつ学生や、成績不振者に対してこちらから声をかけ面談を実施している他、学校生活全般を含め困ったことや悩み事など専門のカウンセラーが対応することも伝えている。			
<b>課題とその解決方法</b> 定期的に全員で声をかけ、聞き取りを行い、必要な面談や専門のカウンセリングを実施する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 年に数回担任による個別相談を実施しているともに、本校には学外のカウンセラーへ相談等行える学生相談室を設置している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生相談室の認知度を高めるための告知と学生への促しを行う。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一



(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 校内掲示板に勉学や学費以外の学校生活全般における悩みなどの学生相談の告知が行われており 現在では、利用できる日も週1日から数日に改善され、訪れやすい環境になりつつある。			
<b>課題とその解決方法</b> 利用しやすくなったとはいえ、定期的に気軽に利用できる環境とはいいがたいので、カウンセラーの増員も考慮する。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> クラス担任制を実施し、学生個別の対応として2者面談や保護者を交えた3者面談を必要に応じて随時実施している。 スクールカウンセラーの利用希望などを受け付け、専門家からのサポートを実施している。 学費など校納金に関する相談については、学生部と連携を行っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生の状況を随時確認できるように、学期始めや試験期間前などに定期的な面談を行う。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍

(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 各クラス担任が中心となり、成績面、出欠席等において常に学生相談にのりやすいように努めている。 必要時は学外のカウンセラーに相談する方向をとっている。			
<b>課題とその解決方法</b> 今後も各担任を中心として、学生の対応を行い、教員間の情報共有を行う。必要時はカウンセリングが受けられるようにする。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 2016年度は、在籍する学生すべてに対し、年3回の面談を実施した。 学生らに、学校生活での不安、学業状況、就職などの項目での面談を実施した。			
<b>課題とその解決方法</b> 面談は、主として学生の話に傾聴することに終始している。 学生たちに学校生活での不安を十分に引き出せていない状況があり、学科内での研修を計画している。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 個人面談以外に、相談内容によってはカウンセリングの受診を勧める。			
<b>課題とその解決方法</b> 個別面談以外に、カウンセリングを受診することで学校生活を楽しめるようにする。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 第1期生は人数が少なかったため、教職員で対応できた。定期的な個別面談も行ったが、その都度対応することが多かった。相談というよりも生活支援にかなり時間がかかる。			
<b>課題とその解決方法</b> 今後学生数が増えると相談、対応にかなり時間がかかると思われる。教職員数を増やすなどの対策を考えている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

(学生相談室)

点検結果： 完璧(5) ・ **かなり進んでいる(4)** ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)

**現 況**

各学科で教員が行う学生相談のみならず、外部カウンセラーによる学生相談室も設けている。

平成 28 年度に実施された学生相談実施の内訳は以下のとおり。

- ・ 柔道整復学科 982 件
  - ・ 鍼灸学科 155 件
  - ・ スポーツ鍼灸学科 60 件
  - ・ 理学療法学科 400 件
  - ・ 看護学科 224 件
  - ・ アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科 376 件
  - ・ 整体セラピスト学科 49 件
  - ・ 日本語科 59 件
  - ・ 学生相談室 149 件
- (学生相談実施件数の合計 2,454 件)

**課題とその解決方法**

学科内で頻繁に学生相談が実施されている。昨年度よりも件数が増えているのは、学生数の増加による結果と考えられる。

また、悩みを抱えた学生が多くいることが伺える。今後、更なる教職員の協力が必要になってくると考えられる。

最終更新日付

2017 年 5 月 10 日

記載責任者

味村 吉浩

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 在校生の半数が奨学金の貸与により学業を継続している。			
課題とその解決方法 家庭環境の変化などの突発的な要因で一時的に厳しくなった場合には、本校提携の教育ローンの提供を行っている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	大森 廣喜

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 附属診療所を併設している。			
課題とその解決方法 附属診療所をはじめ、緊急時の近隣医療機関等への搬送体制を整えている。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	味村 吉浩

#### 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 教育の現場で実施することが困難となりがちな研修をはじめ、学校として直接関わるができない福利厚生事業を、学校法人国際学園グループの相互扶助及び学校の協賛によって「KMS サポート」という形で支援している。学外で実施されるセミナーへの無料参加（年に12回開催）をはじめとして、関連施設であるトレーニングジムなどを利用することができる。			
<b>課題とその解決方法</b> サポートそのものは充実しているものの、学生への認知度を高めるための方策を講じるべきである。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	田中 創

#### 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 本年度3学科を新設したため、方からの入学する学生の増加が見込まれる。学生にはドーマー小倉寮の提供や指定不動産会社からの紹介マンションなど幅広く優良物件を斡旋している。			
<b>課題とその解決方法</b> 学生からの入居要望に応えるべく平成30年度に㈱共立メンテナンス管理の第二学生寮への入居を予定している。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	大森 廣喜

5-28 保護者と適切に連携しているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 成績や出席状況について定めた基準の中で電話対応、面談を行っている。一人暮らしの生徒に関しては学期末に学校状況に関して連絡を取っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 保護者と教員で電話連絡などを行う際の明確な基準作り。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 定期的には行っていないが、欠席状況や試験結果に関して問題等があれば連絡を行っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 保護者への連絡の基準等を構築する必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ <b>やや足りない(2)</b> ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 定期的には行っていないが、欠席状況や試験結果に関して問題等があれば担任を通じて連絡を行っている。			
<b>課題とその解決方法</b> 保護者への連絡の基準等の明確化するが必要であり、担任間で差がでないようにしていく。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 入学時と2年次に保護者説明会を実施し、学科における教育目標などを説明し、保護者と意識統一の上での連携を図っている。 出席状況や学習状況などによって保護者連絡を行い、状況の好転に向けて保護者と連携を図っている。 出席状況のみならず、学生の体調管理についての連携が出来ていない。			
<b>課題とその解決方法</b> 持病がある学生への対応や学生生活中的の体調管理について、保護者との連携を充実させていく必要がある。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	永野 忍



(看護学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 成績や出席状況についての保護者との電話対応、面談を行っている。 欠席が多い学生、成績不振者に対して学校から電話連絡を行っている。 保護者会を年1回実施(1年次は戴帽式後に実施)			
<b>課題とその解決方法</b> 今後も、保護者と相互理解を得られるように詳細な説明を心がけ連携を図る。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	出光 真弓

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ <b>ほとんど進んでいない(1)</b> ・ あてはまらない(N)			
<b>現 況</b> 年度終了時に、在学する学生の保護者に向けて成績表を郵送している 欠席・遅刻が多い学生に関しては、各学年担任より保護者に電話連絡し、必要に応じて三者面談を実施している			
<b>課題とその解決方法</b> 年1回の保護者向け説明会実施を検討していたが、進展はない。 まずは、学科内の情報を発信し、保護者に学科の近況を発信できるようなシステムを構築していきたい。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 休みがちな学生の保護者に連絡を取る。 また、サロンシュミレーション開催にあたり連絡し、当日は来店していただいた。 進学相談のため来校され面談した。			
<b>課題とその解決方法</b> 休みがちな学生の場合、早期に連絡し、現状報告をする。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	蓑田 のり子

(日本語科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ <b>ほとんど進んでいない(1)</b> ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 保護者と意思疎通が難しいため計画的には行っていない。日本に在住する親族と連絡を取ることはある。			
<b>課題とその解決方法</b> 現地日本語学校を通じて学生の学習状況、生活の様子を伝えることは可能なので、今後具体的にどのように進めていくか考える。ぜひ成績の発送をしたい。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	岩山 祐子

## 5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 卒業生が卒後も継続して医療・福祉・スポーツに関することを学べるように、それらの分野に関わる研修会を今年度は17回開催した。5-26に記載しているKMSサポートに卒業後も継続して加入することにより、研修会への参加が無料もしくは割引で受講できる。また、日時の都合や遠隔地で参加が困難な卒業生に関してはオンデマンド上でセミナーの内容を学習することができるようオンデマンドでの動画閲覧のシステムを充実させた。卒業後における現場での万一の事故に備えるために、資格毎の施術保険についても継続した。			
<b>課題とその解決方法</b> 卒後の遠隔地の問題についてはオンデマンド学習を用いることで改善することができたが、近隣（北九州市近郊に在住）でないと受けられないサポート内容については今後システムの構築が必要である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	田中 創

## 基準6 教育環境 (平均評価：3.7)

### 6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 法令を遵守した施設および設備を整備している。			
<b>課題とその解決方法</b> 教育上の必要性に十分対応しうる施設および設備が整備されて問題ない。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	味村 吉浩

### 6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 学外実習については、各学科ともに臨床実習ないしは臨地実習という授業科目名で実施した。(具体的には1単位=45時間、柔整学科：1単位、鍼灸学科及びスポーツ鍼灸学科：1単位、理学療法学科：20単位、アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科：3単位、看護学科1単位)インターンシップについてはいずれの学科も実施していないが、実質的には学外実習がインターンシップの機能を果たしている。 海外研修については、3/22から3/25の期間、本学教職員2名と本学学生2名がグアムにて、国体級の関西大学の水泳部の選手らに対してトレーナー活動を実践してきたが、昨年度より参加した学生が大幅に減ってしまった。			
<b>課題とその解決方法</b> 学外実習やインターンシップについては従来通りの体制で問題ないと考えるが、柔整学科や鍼灸学科にあっては平成30年度からの指定規則の改正に伴う実習施設の充実を計画しておく必要がある。海外研修については学生が参加するには金銭的な負担を強いるため継続が困難な状況にあると判断されるので、継続の可否については早急に管理者会議で協議するものとする。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中島 喜代彦

### 6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 平成28年10月に学生参加の防火訓練を行った。			
<b>課題とその解決方法</b> 防火意識の啓蒙を図るために、今後も消防署と緊密な連絡を取り防火訓練を行う。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	大森 廣喜

## 基準 7 学生の募集と受け入れ (平均評価：4.5)

### 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 以前の行動計画に、更に長崎地区・大分地区、また沖縄方面にも広報活動圏を拡大し現在展開をしている。10年目の学校ではありますがまだまだ地方の学校には認知度が非常に薄い。しかしこの状況で現在の学生獲得を行っていることから、今後広報部全員で今まで以上に行動を行い認知度向上に努めていくことで、今まで動きのなかった地区から新規獲得のチャンスが多く残されているということでもある。			
<b>課題とその解決方法</b> 目標は約7000名の高校生と面会して獲得率を上げていくこと。 その為に、可能な限り高校ガイダンス・会場ガイダンスなどに多く参加して、母数確保に動くことである。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	村方 浩典

### 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 昨年から新学科増設で新しい説明内容が付加された分、新たな知識と説明の仕方の工夫が必要となっている。			
<b>課題とその解決方法</b> 学校の顔となって動く広報部隊が各学科の内容を今まで以上に熟知して、内容を伝える広報活動から伝わる広報活動にシフトしていくことが今後の課題である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	村方 浩典

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検結果： <b>完璧(5)</b> ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 規定に沿って問題なく実施できた。			
<b>課題とその解決方法</b> 特に問題点や課題等はない。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中島 喜代彦

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検結果： <b>完璧(5)</b> ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 本校は学科毎に学納金である入学金や授業料を定めている。学科毎に設定している学納金について今年度も調査したが、北九州市近郊の類似の医療系の専門学校の同一学科の学納金と比較しても中位の金額であった。2018年4月開校予定の作業療法学科、歯科衛生学科、生涯スポーツ介護福祉学科もそれを基準に設定し、妥当な金額と判断している。			
<b>課題とその解決方法</b> この件に関する課題はない。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中島 喜代彦

基準 8 財務 (平均評価 : 3.5)

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 平成 27 年度に新校舎を購入したことによって借入金が増加したが、運転資金は十分に確保できている。			
課題とその解決方法 中長期経営計画を策定し、財政基盤の安定を図っている。			
最終更新日付	2017 年 5 月 10 日	記載責任者	西田 真紀

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 予算作成に際し、理事会・評議員会で査定を実施し、有効な予算・収支計画を策定している。			
課題とその解決方法 おおむね妥当であり、特に問題なし。			
最終更新日付	2017 年 5 月 10 日	記載責任者	西田 真紀

### 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 監査に関しては毎年、内部監査を受けており適正かつ計画どおり実施されている。			
<b>課題とその解決方法</b> 適正に行われており、特に問題なし。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀

### 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <b>ふつう(3)</b> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> ホームページにおいて貸借対照表を公開している。			
<b>課題とその解決方法</b> 貸借対照表以外の財産目録、資金収支計算書、資金収支内訳表、消費収支内訳表等の公開に関しては検討中である。			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	西田 真紀



基準 9 法令等の遵守 (平均評価：4.3)

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<p><b>現況</b>                  昨年度の看護学科の新設に引き続き、今年度は作業療法学科、歯科衛生学科、生涯スポーツ介護福祉学科の開設準備に伴い、学則の変更やそれに伴う各種規定変更等について監督官庁である福岡県私学振興課・医療指導課・障害福祉課からの指導を受けたことにより、法令や設置基準等に則り適正に運営がなされているものと判断している。</p>			
<p><b>課題とその解決方法</b>                  教務部が中心となって学則に準拠した細則や各種規定の見直しを進めている。</p>			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中島 喜代彦

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<p><b>現況</b>                  教職員については、昨年度配布した「職場規律とルールブック」の冊子に基づいて、個人情報の管理を徹底してきた。その成果もあつてか情報漏洩等の問題は生じていないが、教職員に配布している PC に関する情報管理の強化が必要な状況にある。                  また、学生が学外実習等で知る患者や利用者などの個人情報の取扱い等については実習前オリエンテーションで徹底して指導し、実習先等ともその厳守に関し文書を取り交わしている。</p>			
<p><b>課題とその解決方法</b>                  教職員の使用する PC の管理を各自に任せている状況にあり、それによるリスクを減らすために各自の PC を管理本部の専門部署で集中管理する方策を検討している。                  学生が学外実習等で知る患者や利用者などの個人情報の取扱い等については、実習先の担当者と協力して漏洩等なきよう対処することにしてている。</p>			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中島 喜代彦

#### 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> ホームページでも公表しているように、点検 46 項目について点検者（自己点検・自己評価委員会にて協議し、指名した者）を決め、評価してもらった。前年度との比較において改善した項目もあれば、変わらない項目もあるが、後退した項目はない。			
<b>課題とその解決方法</b> 改善した項目は完璧を目指し、変わらない項目は最低でも 1 段階上の結果となるよう努める。そのためには改善すべき項目への対処をできるだけ自己点検・自己評価委員会で具体的に提示するものとする。			
最終更新日付	2017 年 5 月 10 日	記載責任者	中島 喜代彦

#### 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検結果： <b>完璧(5)</b> ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<b>現況</b> 柔整学科、鍼灸学科、理学療法学科、AT 学科の職業実践専門課程の申請の関係もあり、学校関係者評価委員会への報告後に本学のホームページに掲載している。			
<b>課題とその解決方法</b> 特になし			
最終更新日付	2017 年 5 月 10 日	記載責任者	中島 喜代彦

基準 10 社会貢献 (平均評価：4.0)

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<p><b>現況</b>                  設置されている地方自治体北九州市と「スポーツに関する人材育成・研究、スポーツの振興及びスポーツによるまちのにぎわいづくり等、相互に発展することを目的とし、将来に亘り連携・協力するための連携協定」を2017年3月24日に締結する。                  また、2016年4月に前述した取り組みと併せて、地域の商店街における整体サロンシミュレーションを複数回開催し、多くの来客を得て好評を得ている。</p>			
<p><b>課題とその解決方法</b>                  地域との連携協定の具体化にあたり、学校全体としての組織体制を強化し、一層の地域貢献に努めていく。</p>			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中村 潤

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検結果： 完璧(5) ・ <b>かなり進んでいる(4)</b> ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
<p><b>現況</b>                  2016年4月15日に記載した学生のボランティア活動は参加学生数が増加するとともに、その内容が各学科の特性を反映したものになってきており、学生の主体性育成に役立つ活動となっている。</p>			
<p><b>課題とその解決方法</b>                  活動後の来場者からのアンケート集約を行い、改善点を明確にしなが、さらに充実した活動を目指している。</p>			
最終更新日付	2017年5月10日	記載責任者	中村 潤